

学校・家庭・地域の連携で共育 ～優しく、厳しく見守り 育ちを待つ～

第1回明祥中学校区青少年健全育成協議会、第1回ふれあい会議を6月28日に開催しました。



青少年健全育成協議会



ふれあい会議



町内防災訓練にボランティア参加

気づくまで、分かるまで待つことは大切です。気づかせるようにはたらきかけた上で、見守り、待つことが肝要です。

当日は、市議会議員、町内会長、南部公民館長、保護司、主任児童委員、民生児童委員、小中学校の校長、PTA会長、生徒指導主事、PTA生徒指導委員長、子供会世話役、明中PTA役員の出席をいただき、子どもたちの健やかな成長を目指す活動の確認や、それぞれの立場での役割、連携について、話し合いました。多くの方々から、明中生の積極的なボランティア活動が地域を愛し、地域に根ざした人づくりにつながっているとの評価をいただきました。

また、市青少年愛護センター石川様からは、「ノートや引きこもりにさせないためには、自尊心や自己肯定感、生まれてきた意義、自信、挑戦する勇氣などを育てたい。そのためには、家族、友人などの望ましい人間関係を築くためのコミュニケーションが大切です。」とご助言をいただきました。

安城警察署の小椋様からは、青パトの巡回の効果として、市内の犯罪は減少の傾向にあるという明るい報告の後、空き巣や車上ねらいが減らない実態が紹介されました。別紙、リーフレットを基に、我が家の防犯点検をしてください。

ふれあい会議では、学級代表の生徒が、保護司、主任児童委員、PTA生徒指導委員、保護者、教職員とともに、「学級の自慢と課題 集団の一員として」をテーマに、話し合いました。出席された方からは、「35年前、明中生だった自分が、今日、目の前にいました。楽しいことも、悩み事も昔と変わらない。今の明中生が、学校、地域のリーダーに育てほしいと心から願います。人の話を聴く耳と、人の様子を察する目、人の思いを感じる心を育ててください。」と、感想を寄せていただきました。

あいさつ・交通安全運動（PTA役員・委員）



さわやかなあいさつが響く朝



21日～24日の登校時に、学区6つの拠点で実施しました。根崎地内の工場に勤める方から、「元気のいいあいさつをする子たちに、毎日、元気をもらってますよ。ここは抜け道になっていて朝晩は(車が)多くて、時々、はっとすることがあります。(県道からの車は)止まってくれるだろうではなくて、曲がって来るかもしれないと考えるように伝えてください。」と、ご助言をいただきました。地域に挨拶の輪を広げているさわやか明中生の姿をほめていただき、朝からうれしくなりました。

プール監視（ボランティア）



猛暑の中での監視に感謝です



20日、小雨の降る中、今シーズンの安全を願いプール開きをし、21日から水泳指導が始まりました。連日の猛暑の中、PTA役員、委員さんをはじめ、7月1日には、平日が休みになったお父さん方にもプール監視ボランティアにお力添えを賜り、ありがとうございます。

この後、1学期の体育の授業において、のべ56名もの方にお世話になります。お時間がございましたら、監視ボランティアにご協力をお願いいたします。

**除草作業** 6月4日の早朝、東端町老人クラブのみなさんには、「祥風の流れ」から体育館の西側、プールの北側の草取りをしていただきました。ありがとうございました。



**剪定作業** 6月15日、杉浦 要さんと深津喜平さんに体育館前の草取りや芝刈りを、21日には、深津さんに学校北側の垣根の剪定をしていただきました。ありがとうございました。



炎天下での作業に感謝です